

天龍寺

大本山

臨濟宗 天龍寺派



臨濟宗 天龍寺派

大本山 天龍寺

〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町68

電話 (075) 881-1235 FAX (075) 864-2424

<http://www.tenryuji.com/>

世界文化遺産
World Cultural Heritage

歴史の寺 史跡・特別名勝

天龍寺ご案内

天龍寺。臨済宗天龍寺派大本山。正しくは霊亀山天龍資聖禪寺で、京都市右京区嵯峨に位置する。一三三九年（暦応二）吉野で亡くなった後醍醐天皇の菩提を弔うために、足利尊氏が夢窓国師を開山として創建した。この地は檀林皇后（嵯峨天皇の后）が開創した檀林寺のあったところで、のちに後醍醐上皇の仙洞御所・亀山殿が営まれた。後醍醐天皇はここで幼少期を過ごした。夢窓国師は堂塔建立の資金調達のため、「天龍寺船」による中国・元との貿易を進言し、一三三四年（康永二）にほぼ七堂伽藍が整った。夢窓国師の門流は隆盛し、天龍寺は京都五山第一位の寺格を誇った。創建以来、天龍寺は一三五六年（延文一）をはじめ、八回の大火に見舞われ、現代の堂宇の多くが明治期の再建。夢窓国師による庭園（曹源池）は、国の史跡・特別名勝第一号に指定、一九九四年（平成六）世界文化遺産に登録。



【夢窓国師】



加山又造画伯渾身の力作 法堂「雲龍図」

法堂は禅宗の七堂伽藍のひとつで、住職が仏法を説く空間です。天龍寺の法堂の天井には直径9mの円形枠いっぱい、墨色もみずみずしい龍が躍動しています。（特別参拝）



〈秋〉曹源池より嵐山をのぞむ



〈冬〉大方丈から曹源池庭園をのぞむ



〈春〉桜の中にたたずむ多宝殿



〈夏〉曹源池庭園より書院をのぞむ